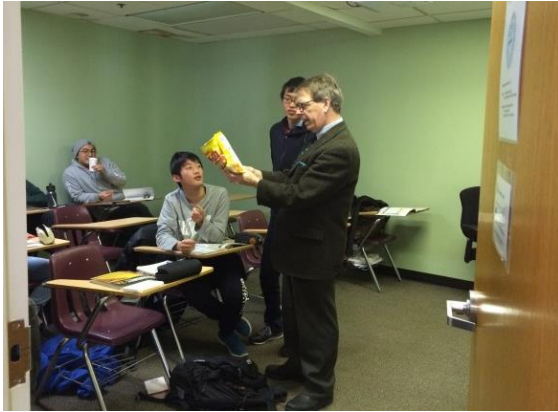


## 太田市立太田高等学校アメリカ研修 5 日目 (3/7)

ボストンでの生活も 4 日目を迎え、交通機関もだいぶ使いこなせるようになってきたようです。今朝は全員余裕を持って登校することができました。徐々にクラスにも慣れ、内容によっては簡単と感じるなど、初日と比べるとかなりリラックスして授業に参加できるようになりました。初めは他国からの留学生と自分のレベルが違いすぎると自信を失っていましたが、グラマーの時間になると自分たちも負けていないと言うことに気付くなど新たな発見もありました。生徒によってはまだ自分から発言ができない、クラスメイトに話しかけられないなど課題が残りますが、学校も残すところあと一日。それぞれが自分の目標に向かって最後の追い込みをかけるときです。今日はクラスメイトの留学生をランチに誘った生徒もいて、勇気を出して行動を起こしたことでかけがえのない思い出を作ることができました。限られた時間をどのように過ごすかは自分次第。明日が最終日ですが、悔いの残さぬよう最後まで駆け抜けてほしいと思います。

昨日の MIT キャンパスツアーをご担当頂いた張さんのお話は生徒たちの胸に印象深く残ったようで、本日提出された日記には「自分のしたいことを見極めたい」「英語が苦手でも留学できることを知って衝撃」と多くのコメントが寄せられました。

好きな事を極めることについては本日午後に来ていただいたゲストスピーカー松川原氏の講演にも繋がる場所があります。アメリカで起業され、失敗も含めたご自身の経験から得た“自分軸”で物事を考えることについて話して頂きました。「他人の評価を気にして生きていては自発的に動くことができなくなるから、自分の評価は自分です」、「自分を認めて好きになることを是非今日からしてみよう」と言う言葉は今の自分たちに必要と思ったようで自然とメモを取り出す生徒が多くいました。また、アメリカと日本では失敗に対する概念が違い、日本人は失敗をダメなことと考えがちだが、この世の中は失敗の繰り返しで出来ているということ、何かを始めようとするときにまだ準備が整っていないと躊躇するのではなく、不完全でも出来ることから始めようなど、まさにこの研修の意義を示すような話が続きました。講演の最後に質問を募ると多くの手が挙がり、自分が気になった言葉を更に深く尋ねたり、こういったケースはどのように考えるべきか?と疑問に思ったことを率直にぶつけていました。今までで一番多くの質問が有り、早速講演での内容が身になっていると感じました。来週からの企業訪問に向けて自動車業界の今後についても触れて頂き、生徒にとっては多くのことを得た時間となったのではないのでしょうか。頂いた言葉を胸に残りの研修にどのように向き合うのか、これからが楽しみです。



先生に日本のお菓子を紹介



クラスメイトの留学生とランチ



松川原氏の講演



講演終了後も質問が尽きない生徒たち